

ドメインの再編

三菱重エグループは2020年4月に、脱炭素化が加速する社会に向け、エネルギーと環境の両面からソリューションを提案する「エナジードメイン」を設立しました。また、事業の性格に合わせて、受注品を主体とする「プラント・インフラドメイン」と中量産品を主体とする「物流・冷熱・ドライブシステムドメイン」を設け、それぞれの事業の成長戦略や課題に迅速に

対応できる体制を再構築しました。さらに、原子力事業と機械システム事業は、民間機セグメントや防衛・宇宙セグメントと同様に、CEO直轄体制として事業運営の機動性を向上させることとしました。

なお、報告セグメントとしては、原子力事業はエネルギーに、機械システム事業はプラント・インフラに区分されています。

▶ ドメイン再編に伴う報告セグメントの区分変更概要

売上構成比(2019年度)

